



写真左中：波除神社と蛤石



写真右：江東区住吉の蛤塚

(蛤町)

江東区には深川蛤町一丁目（現：永代二丁目）、深川蛤町二丁目（現：門前仲町一丁目、二丁目）の町名があり、町内には蛤の貝殻を敷いた道路があったと言う。町名は徳川三代将軍家光が隅田川を訪れた折、地元の者が蛤を献上したことによる。関東大震災後、昭和6年(1931年)に町名変更した（江東区史 1997年 等）。

(蛤御門)

京都御所の西側にある門の名前、元治元年(1864年)、「禁門の変」「蛤御門の変」。門の名前の由来は、天明大火の後、寛政2年(1790年)に新たに開かれた門ということで「焼けて口開く蛤御門」と京童の言。

ヒメシラトリ *Macoma incongrua* (Martens)



ニッコウガイ科 殻長 3cm。殻は卵型でふくらみは弱い。殻頂付近がオレンジ色、殻表には灰褐色の薄い殻皮がある。内湾奥部の泥底に生息。水管が長い。分布は九州以北。

ニッコウガイ科の貝は鳥の名前が付いたものが多い。サギガイ、アオサギ、ゴイサギ等。なお、語尾がシラトリとなる貝は、ケショウシラトリ、サビシラトリ、タカホコシラトリなどがある。



水管を伸ばしたところ

ホトトギスガイ *Musculista senhousia* (Benson) (丹浦) 時鳥



イガイ科 殻長 2cm。殻皮は黄緑から黒紫色で光沢がある。分布は北海道南部以南。和名はホトトギス（野鳥）と同じような縞模様をもつことに由来する。

ホトトギスガイはアサリの害敵

ホトトギスガイの生息量が増えると、足糸でお互いが絡み合い、海底をマット状に覆う。羽田州で昭和 27 年、31 年に、三枚州では昭和 32 年に異常繁殖があった。こうなると、マットの下になるアサリは窒息し、大量斃死となる。このため、漁業者はマット状集団を壊すための作業（耕耘）を行った。